

第4回外務省政策会議  
(概要記録)

日時：10月19日 14:30～15:45

場所：外務省講堂

出席議員の概数：30名程度

議題：

- (1) 岡田大臣の出張報告(日中韓首脳会合出席、アフガニスタン・パキスタン訪問、インドネシア(含むスマトラ)訪問)
- (2) 平成22年度概算要求
- (3) その他

**外務省政務三役からの報告**

1. **岡田大臣の出張報告(岡田外務大臣)**

(1) 日中韓首脳会談出席

- (イ) 日中韓協力の10周年であり、ASEANの国際会議のマージンではなく、独立して開催されるようになって2回目の会合。鳩山首相、温家宝首相、李明博大統領との間で対話が促進された。
- (ロ) 訪朝直後であった温首相より、北朝鮮が、まずは米朝で協議したいが、同協議の結果次第ではいずれは六者会合に復帰すると明言したのは一つの進展であった旨説明があった。

(2) アフガニスタン・パキスタン訪問

- (イ) 治安上の理由により突然の訪問という形になったが、訪問の準備は就任直後から行っていた。また、アフガニスタンでの大統領選挙を巡る一連の動きの中での訪問となった。
- (ロ) 農業分野等を中心として20億ドル相当の支援をしてきた我が国が、今後更にもどのような支援を行うのが適切か、現地のニーズを伺い、元タリバン兵士に職業訓練を施すというアイディアなどについて意見交換を行うなど有益な議論を行った。

(3) インドネシア(含むスマトラ)訪問

- (イ) 2期目に入ったユドヨノ大統領となるべく早期に会談すること、スマトラの被災地を激励に行くことが目的であった。インドネシアは、ASEANのリーダー国として、今後益々重要であるとの認識を強めた。
- (ロ) 被災地では、我が国の国際緊急援助医療チームの活動への高い評価を聞くことができた。今後の復興支援についても考えていく。

## 2. 平成22年度概算要求について（武正副大臣）

資料に基づき、平成22年度概算要求では、コスト削減や任意拠出金の削減等により平成21年度当初予算の6700億円から295億円減少し、他方で義務的増及び重要課題に対応するための政策増として93億円、更に本年度限りの特殊要因増として172億円を計上することにより、総計6671億円となった、これ以外に鳩山政権としての重要課題についての予算を年末までの間に要求する予定である旨述べるとともに、補正予算の執行停止額を新たに約2億4700万円積み増した旨説明。

### 質疑応答

#### 1. 気候変動問題

（質問・コメント）

- ・ 25%削減は国内だけで実現するのか、或いは、国外からの排出権買い取りなども含めて対応するのか。

（回答：岡田大臣）

- ・ できるだけ国内で実現したい。但し、時間が限られているので他の方法でも補足する。
- ・ 中国側と協議した際に、中国側からも2020年の達成目標という話がでた。自分からは、「共通なるも差異ある責任」ということは理解するが、中国も何らかの義務を負う必要があると主張し、中国の前向きな対応を求めた。

#### 2. 日中韓首脳会談・東アジア共同体

（質問・コメント）

- ・ 日中韓首脳会議の際に領土問題は取り上げられたのか。
- ・ 東アジア共同体の範囲は如何、米が懸念を有しているとも言われるが。

（回答：岡田大臣）

- ・ 日中韓首脳会議では領土問題は取り上げられなかった。
- ・ 東アジア共同体の範囲については、様々な枠組みがあっても良く、はじめからきっちり決める必要はないと考えている。できる協力を積み重ねていくことが大切。同共同体は、将来の大きなビジョンであり、そのような将来のビジョンを持つことで過去の問題や狭いナショナリズムを乗り越えられるという意義もある。

#### 3. 北朝鮮問題・拉致問題

（質問・コメント）

- ・ 中朝間、米朝間の協議・接触が行われている中で、日本から北朝鮮に対する新たなアプローチはないのか。
- ・ 北朝鮮の拉致問題を巡る日朝間のやりとりについて再度事実関係を確認して欲しい。

（回答：岡田大臣）

- ・ 誠実さにかける今の北朝鮮の姿勢では我が国から動く余地は小さい。北朝鮮側が約

束した再調査の実施が前提。時間の利益はこちらにある。

#### 4. アフガニスタン・パキスタン支援

(質問・コメント)

- ・ アフガニスタンでのD D Rに対する評価如何。
- ・ インド洋における給油活動についてアフガニスタン側から何らかの言及はあったのか。

(回答・岡田大臣)

- ・ 6万3000人が武装解除され、うち5万3000人が社会復帰のプログラムを受講し、2006年に終了した。
- ・ これまでの対アフガニスタン支援については、カルザイ大統領からも謝意表明があった。
- ・ インド洋における給油活動については、アフガニスタン側からは一切言及がなかった。パキスタンからは給油継続の要望があった。

#### 5. 平成22年度概算要求

(1) 海賊対策

(質問・コメント)

- ・ 概算要求では、ソマリア沖の海賊について、海賊対策ではなく、そもそも海賊が海賊行為をしなくてよくなるような経済支援に重点をおくべき。また、自衛隊ではなく海上保安庁の知見も活用すべき。

(回答：福山副大臣)

- ・ ソマリアについては国際機関経由の支援を、また、ジブチとイエメンについても民生支援を盛り込んでいる。
- ・ 海上保安庁の知見を一層活用していくことはこれまでと同様である。

(2) 国連分担金

(質問・コメント)

- ・ 国連の分担比率が上昇している(望ましいという趣旨)。

(回答：福山副大臣)

- ・ 分担率は16%で一定。国連予算の上昇に伴って分担金が増加している。新しい分担率は、年末に向け交渉で決まる。

(3) 大使館の運営

(質問・コメント)

- ・ 情報収集等の中心となる在外公館の運営をきっちりしていく必要がある。

(4) その他

(コメント)

- ・前政権での外交方針を今後検証し、見直していくべき。

6. その他

(質問・コメント)

- ・羽田空港のハブ化との関連で、横田基地の航空管制の問題がでてくると思う。

< 配付資料別添 >

(以上)